

第1473回 例会 (平成30年1月26日)

本日のプログラム 職場例会 : 笠岡諸島交流センターにて
ゲスト卓話 安東 康宏様

前例会の記録 (第1472回 平成30年1月19日)

- ・会員数 42名
- ・出席者 35名 ・出席率 83・33%
- ・欠席者 7名 恵谷 岡原 越智 河田 高橋 土屋 椋梨の諸君

1月5日メーキャップ後の出席率 71・43%→95・24%に補正

1月10日笠岡 RC へ北殿真一・頃末英克・奥野千秋・椋梨孝章・山本雅夫・大島俊明・中新隆池田周二・河田恭志の諸君

1月7日愛知ロータリーEクラブへ小川隆則会員

- ・ゲスト 阪本 文雄様 (元山陽新聞社笠岡支社長)
- ・ビジター 坂本 亮平様・横山 祥平様 (笠岡 RC)
- ・会長報告 本日は、国際ロータリー創立112年と330日に当たり、笠岡東ロータリークラブは創立31年と37日に当たります。

先週は、笠岡 RC との合同新年夜間例会にご出席頂きまして、誠にありがとうございました。

- ・幹事報告 末長ガバナーエレクト事務所より、2018~19年度 RI テーマのお知らせを頂いております。テーマは、「BE THE INSPIRATION」日本語では、インスピレーションになろうです。笠岡 RC より、第6グループ会長幹事会新年会開催のご案内を頂いております。

日時：平成30年2月4日(日) 18:00~

場所：倉敷市 食亭 大館 登録料：8,000円

ハイライトよねやま214号をメールにて頂いております。

山陽新聞社より、プロ野球オープン戦観戦招待のお願いが参っております。

日時：3月10日(土) 楽天-西武 3月11日(日) 楽天-中日

カプトガニ博物館より、特別陳列「浪形層の化石たち」展のポスター、リーフレットの掲示と配布のお願いが参っております。

- ・委員会報告 雑誌広報インターネット委員会よりロータリーの友の紹介
- ・配布 週報 ロータリーの友 ・食事 にぎりずし定食

◎スマイル

石田官義君 阪本様卓話を有難うございます。先週の合同例会に参加頂き盛大に開催されました事に感謝申し上げます。

新井善久・江原公平君 阪本様卓話よろしくお願ひ致します。

光井 伸君 本日は阪本文雄さんに卓話を頂き有難うございます。

福嶋啓祐君 平素大変お世話になっている阪本文雄様ようこそ！！卓話有難うございます。

岡辺賢二君 阪本様には卓話にお出で頂き有難うございます。愚息が山陽新聞社に勤務いたしております。お世話になります。

椋梨孝章君 阪本様本日は卓話有難うございます。久しぶりにお会いしたかったのですが、残念ながら出席出来ませんでした。またいつの日にか。

長鋪方隆君 阪本理事、今日はありがとうございます。卓話楽しみにしております。「りゅうちゃんお元気ですか」(山本会員今日のロータリーの友紹介上出来でした。)

大嶋元義君 阪本支社長様には10数年前会長紹介でお世話になりました。

大島俊明君 12月のインフルエンザがやっと回復しました。

田淵純雄君 金子会員に新年互礼会の後、家まで送って頂きました。感謝。

山本茂雅・金政一孝君 週報に写真が載りました。小川隆則君 スマイルに協力します。

山本雅夫君 早退します。スマイル 15,000円

●プログラム 「笠岡の街づくり」 阪本 文雄様 (山陽新聞社監査役)

最近、街づくりのポイントの1つに、にぎわい創出があります。魅力ある都市には近隣から多くの人が集まってくる。

野球、サッカー、演劇、コンサート。笠岡でもと石田会長の発案で日本最大規模のクラシックカーラリーを誘致することになり、4月8日笠岡に来てかぶとがに博物館、市民会館を巡回することが決まりました。

さて本論に入って笠岡の街づくり、始まりは1698年、笠岡代官所が開設され、50人の代官が赴任し新田開発、治山治水、築港、教育など笠岡を中心にした街づくりがスタートした。年貢米からまき、塩、紙などの流通が行われ、港から大阪などへ運ばれるようになる。それから1797年、敬業館が出来た。領民に教育をする学校で、運営費は商家の人たちが寄付した。つまり、100年ほど経って、港を中心に商家が集まる街が出来てきた。1868年、明治維新。明治5年、笠岡に小田県の県庁が置かれた。岡山市の足守、高松、吉備、倉敷、浅口、総社、高梁、新見、つまり備中一円と備後は福山、尾道、沼隈~神石までが小田県。矢野光儀権令は小田県新聞の発行、博覧会を地福寺、玄忠寺で開催、製糸工場の開設、地福寺で県会、いづれも岡山県で初のことばかり、笠岡は行政、商工業の中心地になった。わずか3年で現在の岡山、広島県に県域が整備されたが、その余勢をかって

1913年、井笠鉄道が開業、井原、吉井、美星、矢掛とを南北につなぐタテ軸ができ、備中の交通拠点になった。昭和20年319万人を輸送したのをピークに多くの人々を運び、商業都市笠岡はにぎわった。昭和46年井笠鉄道廃止とともに拠点性を失い、7万人を超えていた人口は5万人へと減り続けた。1990年、農地1191ヘクタールの笠岡湾干拓地が完成、ここが笠岡再生のキーポイントになると期待され、やっとならび最大級の施設園芸サハラ(小林健伸社長)が来年4月操業開始を目指しバイオマス発電所、トマト、レタスなどを栽培するガラス棟の建築

工事に取り掛かる。干拓地を拠点に新しい笠岡の街づくりが進む。

次週以降のプログラム&行事予定

2/2(金) 第1例会 高齢者委員会より 福嶋啓祐高齢者委員長卓話

2/9(金) 第2例会 2月11・12日予定の親睦旅行について 岡原稔親睦委員長

2/11・12(日・祝月) 親睦一泊旅行 道後温泉の旅

2/16(金) 第3例会 ゲスト卓話 秋山 幸子様(総社 RC)